

「パズルをつまらなくしてしまったのかも」

「数独」または「ナンバープレース」というパズルは、 3×3 のブロックに区切られた 9×9 の正方形の枠内に 1 から 9 までの数字を入れるパズルである。このページの下にある問題はその一つで、日曜日の読売新聞の別冊に載っていた。新聞や雑誌の後ろに付いていることが多いパズルで、時間をもてあましているときに、ちょっと頭を使うのにちょうど良いパズルだ。書店では、問題集のような冊子も売り出されており、懸賞のついた雑誌もある。

やったことのない人のためにルールを説明すると、空いているマスに 1 から 9 までの数字を入れる。タテ列、ヨコ列、そして太線で囲まれた 3×3 のブロックのどれにも 1 から 9 までの数字が一つずつ入る。一つの空欄の枠をうめたいときは、タテ、ヨコ、そしてブロックにない数字を探せばよい。たとえば下の問題で、黄色い枠は、タテ列に 1、3、ヨコ列に 1、9、ブロックに 8、9 があるので、残りの 2、4、5、6、7 のいずれかが入る。この時点では、一つの数字に確定しない。解き方のコツはあるようだが、それは問題をやっていくうちに気付いてほしい。

私もたまにやるので、そんなに早く解けるわけではない。ところで、このパズルは枠に入る可能性のある数字を探していくパズル。そこで、パソコンのエクセルで、関数「IF」を繰り返し使えば、自動的に答えを出せるのではないかと考えた。かなりたくさんの「IF」を使うのだが、自分の解きかたの知識の範囲で作ってみた。「マクロ」という自動的に操作してくれる機能を使うと、さらに早くなる。下の問題を普通にやっているとき 30 分間ぐらいはかかるだろうが、そのプログラムに数字を打ち込むと、1 分もかからないで全部の枠をうめてくれる。「これを使えば考えなくてもできる」のだが、それってパズルをやる意味があったのだろうか。ちなみに、私のもっている解き方の知識をパソコンがやっているだけで、難易度の高い問題は解けない。これは今後の工夫が必要だ。

4月24日 校長 鈴木 幸雄

◆問題

上のルールに従って、右の空欄を埋めてみましょう。

			1		9			
	9			4			5	
		8				7		
1			2		4			8
	5			1			7	
3			9		8			5
		3				2		
	7			8			1	
			5		6			